

OBOG連絡協議会アンケート集計

発信日:10月15日

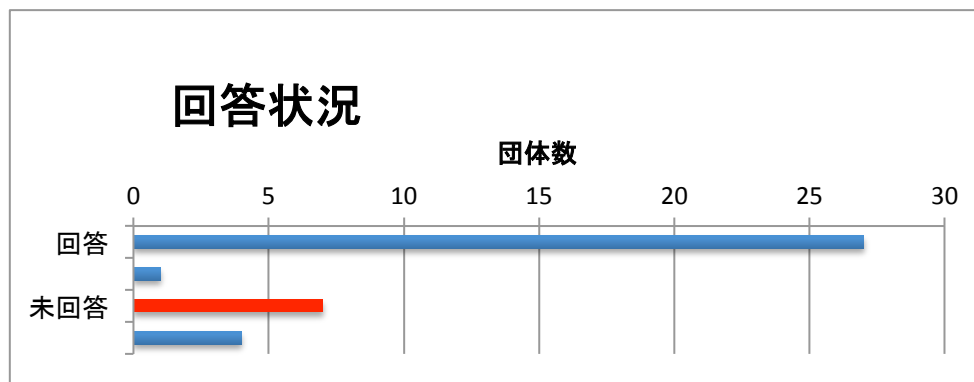
集計日:12月17日

作成:事務局

回答状況

対象:39団体
(空手部以外)

| | 件数 | % |
|-------|----|------|
| 回答 | 27 | 69% |
| 問合せ | 1 | 3% |
| 未回答 | 7 | 18% |
| 連絡とれず | 4 | 10% |
| 合計 | 39 | 100% |



回答:

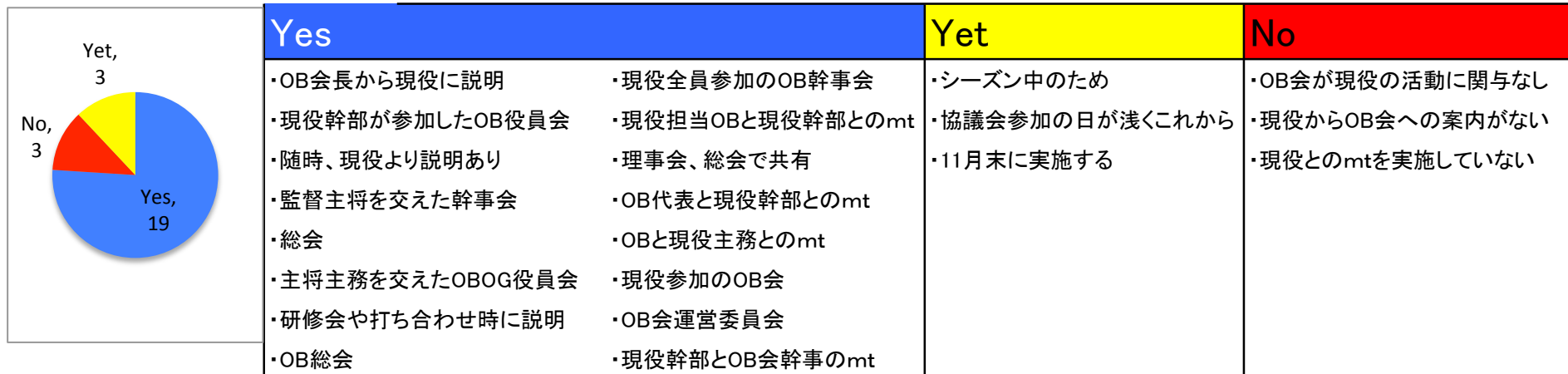
- | | | | |
|----------------|--------|-----------------|--------|
| 1 応援指導部 | 回答 | 21 漕艇部 | 回答 |
| 2 アーチェリークラブ | 回答 | 22 卓球部 | 回答 |
| 3 アメリカンフットボール部 | 回答 | 23 軟式庭球部 | 回答 |
| 4 合気道部 | 回答 | 24 ハンドボール部 | 回答 |
| 5 居合道研修会 | 未回答 | 25 バトミントン部 | 未回答 |
| 6 弓道部 | 回答 | 26 バレーボール部 | 回答 |
| 7 剣道部 | 回答 | 27 馬術部 | 送っていない |
| 8 ゴルフ部 | 回答 | 28 ヨット部 | 回答 |
| 9 硬式庭球部 | 回答 | 29 ラグビーフットボール部 | 回答 |
| 10 (工)硬式庭球部 | 回答 | 30 陸上競技部 | 回答 |
| 11 硬式野球部 | 回答 | 31 籠球部 | 問合せあり |
| 12 (工)サッカー部 | 未回答 | 32 ワンダーフォーゲル部 | 回答 |
| 13 自転車部 | 未回答 | 32 ワンダーフォーゲル部 | 回答 |
| 14 自動車部 | 送っていない | 33 ボクシング部 | 送っていない |
| 15 蹴球部 | 回答 | 34 軟式野球部 | 回答 |
| 16 柔道部 | 未回答 | 35,36 (男子)ラクロス部 | 回答 |
| 17 準硬式野球部 | 回答 | 36 (女子)ラクロス部 | 回答 |
| 18 スキー部 | 未回答 | 37 ライフセービング部 | 未回答 |
| 19 水泳部 | 回答 | 38 少林寺拳法部 | 入会間もない |
| 20 ソフトボール | 回答 | 39 レスリング部 | 回答 |
| | | 40 (工)バスケットボール | 回答 |

回答内容

1 再発防止8項目

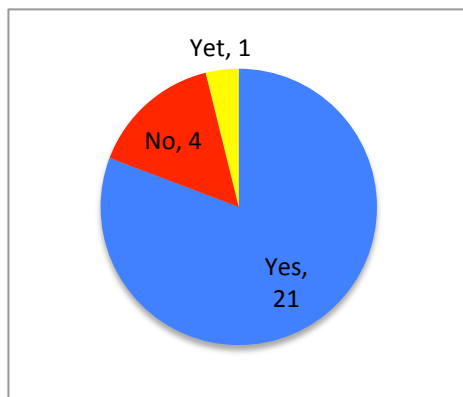
大学では、「体育会系部活動の安全と指導体制の整備について」として再発防止策8項目を掲げ、規則の制定やセミナーの実施を進めています。

①学生とのミーティングを行いましたか？ ②どのような会議体？ ③実施できていない理由



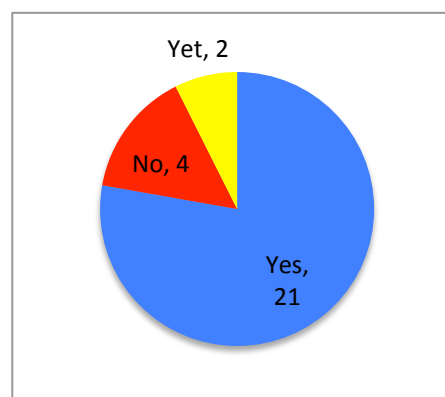
④セミナー等の認識は

リーダースキャンプ、アスリートコンディショニングセミナーには現役が参加していることを確認し、報告を受けているか？



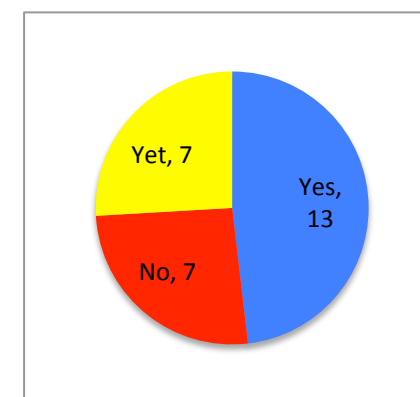
⑤倫理規則・誓約書

監督、主将、各部員は内容について理解し誓約書に賛同したことを認識しているか？

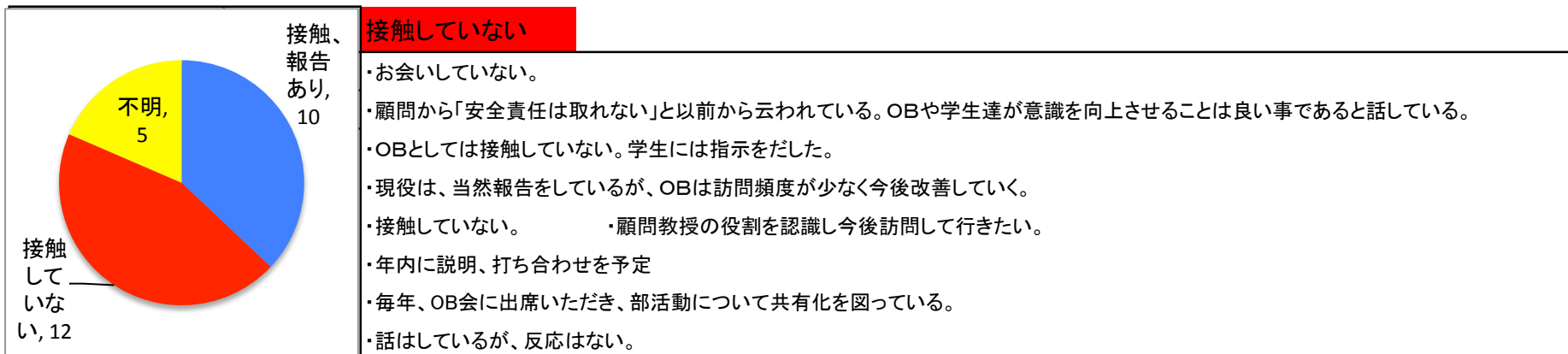


⑥左記OB会は

左記の内容はOBOG会にでも同様に周知されているか？



⑦顧問教授とは、ガイドライン制定後に接触し反応に変化はあったか？

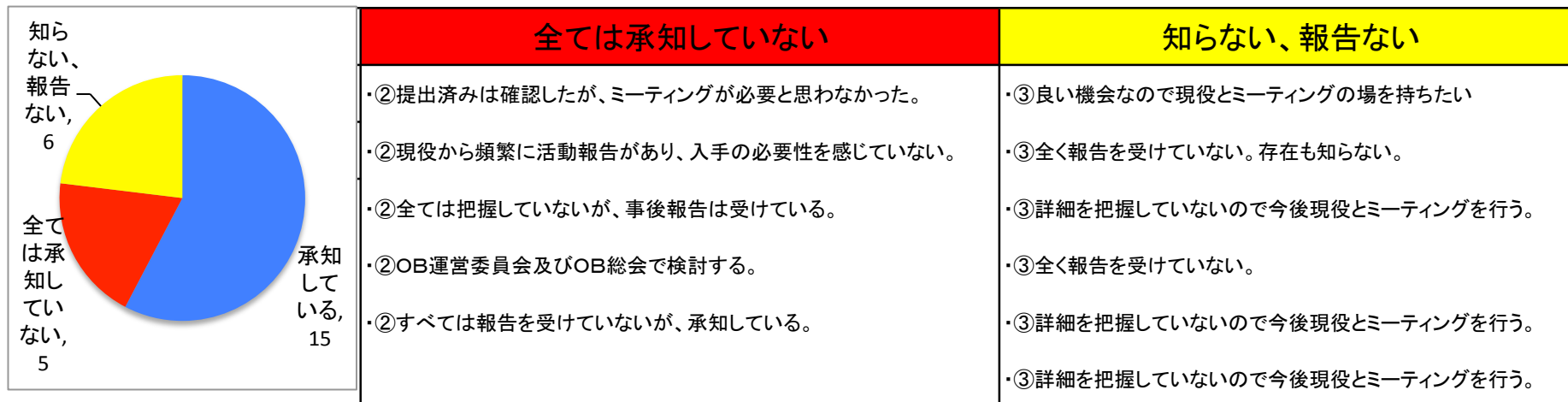


⑧再発防止策への意見

フリーアンサー

- ・体育会本部の自治運営能力を高め、安全管理の徹底をはかる必要がある。
- ・対策としては概ね網羅されている。が対策だけでは防げるものではない。更に努力が必要。
- ・倫理規則及び誓約書では、誓約書を取るようになったことを重く受け止めるべきだろう。
- ・安全対策について、危機管理マニュアルを現役に作成させる。
- リーダーズキャンプではなく、学内で実施すべき。

2. 「学生団体登録届」等の資料について



3. 貴団体の課題について

- ・OB会の活動そのものがない。OB会の目的が、OB同士の懇親が主で、支援も少額であり指導や交流がない
 - ・事故の発生は全く予想を超えて発生する。その緊張感を学生と指導者が持ち続ける必要がある。また本部派遣要員のレベルアップが必要。
 - ・部員不足で活動が活発でない。OB／学生の連携が疎になりがち11月役員会で立て直しをはかる
 - ・今後OBの監督と連絡を密にすることを確認。
 - ・チアリーダー部との連携が上手くいっていない。
 - ・OB会の組織運営で人材の確保、OBへの情報提供方法、会費の徴収方法等の課題がある。
 - ・OB会(軟球会)は60年以上の歴史がある。会員も300名を超えるが限られた会員による活動になりがちである。
 - ・OB会の組織・運営に携わる人材の育成が急務である。
 - ・基本的には伝統的に現役の自主性に任せている。・4年生の春季リーグ戦と就活が重なり1年と4年生の交流が希薄となる
 - ・OB総会には、学生幹部も出席し年間活動を共有化している。また監督、副監督は週単位で稽古に参加、学生個々の課題も把握している。
 - ・アーチェリーは武器です。保管方法や練習中の安全管理から対策を充実させる。・部員の確保が重要。
 - ・練習時間の制約、新入部員の初心者の方の多さ等から試合に勝つことと部員の確保の狭間で苦労している。
 - ・現在学園の球場を使用できない規程なので、練習場の確保が大変です。
 - ・グラウンドは、大高中各部が混在し使用している。使用規則があるが殆ど周知されていない。学園による調整を願いたい。
 - ・剣道は生涯スポーツ。年齢差を越えた現役とのコミュニケーションが益々必要である。
 - ・AO入試での経験者入学を希望。艇庫の改築、建直し。通学や買出し用の共用車の所有許可。
 - ・5年前にOB会組織を再構築し、年一回の現役との交流の場を設けている。今後、道場建直し等の大きな課題がある。
 - ・体育会離れが進み、他の大学では廃部休部がある。組織的な新入部員の確保が課題で、OBや他大とのネットワーク、大学と一体となった勧誘が大切。
 - ・部員数鶴の維持、練習場所の確保、練習時間の充実。
- 女子部員の減少に歯止めがかからず苦慮している

4. OB会議協への要望

- ・各団体は、OB会活動は千差万別です。出来る範囲でのOB会議協活動の参加とさせて欲しい。
 - ・体育会活動の全体が分かる情報誌(会報)を定期的に発行して欲しい。
 - ・設立総会時の資料を再度送って欲しい。尚、名簿のアドレスや電話番号は除いた方が良い。
 - ・組織・運営面での研修会・講演会をお願いしたい。また再発防止策についてはOB会議協任せにならないようお願いしたい。
 - ・就職活動の支援(OBOG訪問先紹介、エントリーシートの書き方、模擬面接、役員紹介等)
 - ・OB会議協は、年1回程度に留め、決議が必要な場合は「委任状」等の仕組みで対応頂きたい。
 - ・組織力、団結力、運営方針・内容等異なる中、進んでいる部の牽引指導と配慮をお願いしたい。
 - ・クラブの課題を抱えながら、体育会の一員として活動している。理解をお願いしたい。
 - ・指導者の会合があればお互いの理解が進む。
 - ・Ob会団体の活動状況も様々だと思うので、時間はかかるが情報共有を進めていただきたい。
- 学生団体届等が部の主務より事務局に提出をするよう指示したが、受けたか？
- ・現役との交流は密にとっているつもりだが、再発防止策の共有化などどこまで関与すべきなのか？
 - ・OBOG会長会の役割について現役の理解がされていないのでは。またOBOG協議会では部活動に責任が取れない、予防策等は学校が対応すべき